

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名	山梨県立青少年センター					
指定管理者	財団法人山梨県青少年協会	所管課	社会教育課			
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	<p>青少年に自主的かつ創造的な活動及び交流の場を、青少年育成指導者や勤労者をはじめ多くの県民に学習及び交流の場を提供すること。</p> <p>主催事業の実施を通じて、青少年育成事業者及び勤労者に研修、交流の機会を提供すること。</p>					
指定管理者が行う業務	<p>施設の利用の承認に関する業務</p> <p>施設及び設備器具の維持保全に関する業務</p> <p>青少年の健全な育成に関する催し及び講座の実施に関する業務</p> <p>青少年を指導するものの養成に関する講座の実施に関する業務</p> <p>その他知事が必要と認める業務</p>					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	専門的業者による点検、職員による日常点検を実施し、常に良好な状態で利用できるように管理を行った。施設の修繕については、緊急性の高いものから対処していった。	施設管理全体について、法規を遵守して点検整備が行われていた。今後も利用者が安全快適に利用できるように、異常や破損している施設設備を発見した場合には、速やかに対処すること。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	主催事業として、年間21事業を実施した。施設の利用促進、主催事業の参加者募集のため、学校、企業及び各種団体に赴き、営業活動を行った。ボランティアセンターに依頼して、ボランティア・NPOボードでチラシの掲示を行った。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。各種事業のチラシやポスターを作成し、学校等に配布したり掲示したりするなど、事業の広報活動に努めていた。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	自主事業「レインボースポーツ塾」の新規勧誘のためのチラシを配布した。	「レインボースポーツ塾」を開く等、利用者拡大の取り組みが行われた。今後も利用者アンケートを実施し、ニーズの把握や分析を行い、今後の事業の企画や運営に活かしていくこと。				
利用者満足度調査	満足度	利用者の声				
	施設・設備管理について 満足 96.1% 利用手続・時間について 満足 96.7% 受付・接客対応について 満足 97.8% 利用者サービス 満足 96.2% 総合満足度 99.2%	<p>机が壊れているものが多いので新しくしてほしい。</p> <p>リバース館にエレベーターを設置してほしい。</p> <p>卓球台がボコボコなので新しいものに変えてほしい。</p> <p>体育館にエアコンがほしい。</p> <p>トレーニングマシンが古いので新しくしてほしい。</p>				
	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
評価	机、卓球台などについては、利用頻度や状態を考慮しながら入れ替え等を検討していく。利用者のアンケートや意見をもとに、新規の事業を取り入れ、満足度が高く人気のある事業は継続して実施していく。	満足度調査の結果は、各項目とも90%を超え、概ね満足している結果となっている。利用者の意見をできるだけ吸い上げ、より一層のサービスに努めること。特に壊れている机等については、順次入れ替えを実施していくこと。				
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)	
		288,571	289,000	284,877	289,000	
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	会議室の利用はやや落ち込んでいるが、体育施設については利用者数増となった。事業参加者については主催事業については参加者増となったが、自主事業(レインボースポーツ塾)が減少となった。平均稼働率については2.6%増となっているので平年とほぼ同じ推移をした。	利用者数については減少しているため、今後、利用者増に向けて努力すること。利用者数が目標値に届かなかったのは、会議室の利用者数が落ち込んだためであり、今後営業活動や広報活動を積極的に行うこと。				
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	24,133,000	24,407,330	-274,330	23,805,000
		指定管理料	100,989,000	100,989,000	0	105,025,000
		その他収入	2,752,000	3,107,286	-355,286	1,797,000
		計	127,874,000	128,503,616	-629,616	130,627,000
	支出	127,874,000	127,114,460	759,540	130,627,000	
差し引き(収入-支出)	0	1,389,156		0		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	プールの利用は減ったが、その他の体育施設の利用は増えたので体育施設の利用料金収入が増加した。H20年度から受益者負担が多い事業を廃止したため収入が減少した。事務用品等の節約により、消耗品費の減となった。	事務用品の節約、チラシを自分たちで印刷するなど全体的に経費の節減に努めている。積極的に事業を実施し、安定的な運営に向け努力している。プールを除く体育施設の利用料金収入が増えているので、今後も利用者増に向けた営業活動や広報活動が必要である。				
施設の運営目標の達成状況	<p>施設利用者数については、会議室の利用者数の減少により、目標値を下回ったが、主催事業参加者数は目標を上回り、運営目標全体では概ね達成できたと評価できる。</p> <p>今後、利用者ニーズを十分に把握し、魅力的な主催・自主事業を実施することやより積極的な広報活動を行うことで、施設全体の利用者数を向上させることが必要である。</p>					
総合的な評価及び改善事項	<p>基本協定書や業務計画書に基づき、適正に管理運営されており、自主的な事業を実施するなど、利用者拡大に努めている。</p> <p>施設の老朽化が進んでいるので、利用者が安全快適に利用できるように、施設設備の不具合が無いように迅速に対応すること。</p> <p>利用者アンケートをもとに、検討会議等を適宜開き、施設設備や業務の改善を図ること。</p> <p>施設の利用促進、事業への参加者募集等のため、施設のPRやチラシの配布等をし、積極的に利用者増を図ること。</p>					